

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【公開番号】特開2013-56949(P2013-56949A)  
 【公開日】平成25年3月28日(2013.3.28)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-015  
 【出願番号】特願2012-288298(P2012-288298)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)  
 A 6 1 K 38/22 (2006.01)  
 A 6 1 K 38/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 15/08 (2006.01)  
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/06  
 A 6 1 K 37/32  
 A 6 1 K 37/02  
 A 6 1 P 15/08  
 A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

LH-RH拮抗物質の投与と、外因性ゴナドトロピンの投与による卵胞の成長の誘発とにより不妊症を治療するための製薬学的製剤において、内因性LHのみを抑制し、FSHの分泌を自然のレベルに維持し、個々のエストロゲンの発達に影響しないほど低い量のLH-RH拮抗物質を含有することを特徴とする、不妊症を治療するための製薬学的製剤。

【請求項2】

拮抗物質がセテロレリックスである、請求項1記載の製薬学的製剤。

【請求項3】

外因性ゴナドトロピン以外の物質により卵胞の成長が刺激される請求項2記載の製薬学的製剤。

【請求項4】

LH-RH拮抗物質により引き起こされる天然のLHの作用を抑制した後で卵胞の発達が外部から刺激されず、内因性ゴナドトロピンにより維持される、請求項2記載の製薬学的製剤。

【請求項5】

皮下投与されるセテロレリックスの量が多数回の配量薬量においてセテロレリックス1日0.1~5mgの範囲内である請求項2記載の製薬学的製剤。

【請求項6】

LH-RH拮抗物質が1回または2回の皮下投与として1mg~10mgの範囲内で投与される請求項1記載の製薬学的製剤。

【請求項7】

LH - RH拮抗物質が開始周期6～10日で請求項6により投与され、月経周期9～16日で排卵が誘発され得る、卵巢の刺激を調整する製薬学的製剤。

【請求項8】

黄体期中にHCGの負の効果を抑制する際に黄体相の補充を回避するために天然のLH - RHまたはLH - RH作動薬が投与される請求項7記載の製薬学的製剤。

【請求項9】

過度の刺激症候群を回避するためにrec. LH、天然のLH - RHまたはLH - RH作動薬が投与される請求項7記載の製薬学的製剤。